③　専任の主任技術者または監理技術者を配置する場合にあっては、入札参加希望者と直接的かつ恒常的雇用関係にあること。なお、恒常的雇用関係とは、競争参加資格確認申請書（別記様式１－１）(以下､｢確認申請書」という。)の提出日以前に３ヶ月以上の雇用関係にあることをいう。

④　監理技術者にあっては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習終了証を有する者であること。

⑹　確認申請書提出期限の日から落札者決定の日までの期間に、東日本高速道路株式会社競争参加資格停止等事務処理要領（平成18年８月７日東高契第269号）に基づき､｢地域３」において競争参加資格停止を受けていないこと。

⑺　警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する建設業者またはこれに準ずる者として、公共工事等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。

⑻　当該工事に係る設計業務等の請負人または当該請負人と資本若しくは人事面において関連がある建設業者でないこと。

３　総合評価落札方式に関する事項

当該工事の総合評価落札方式について以下に示す。なお、評価項目、評価に関する基準及び提出資料等の詳細については入札説明書による。

⑴　入札説明書に示された競争参加資格を満たしている場合に標準点100点を付与する。

⑵　提出した技術資料に示された技術提案（以下「評価項目」という。)により最大５点の加算点を加える。

⑶　得られた標準点と加算点の合計を当該入札者の入札価格で除して算出した値（以下「評価値」という。)を用いて落札者を決定する。

⑷　本工事における評価項目は次のとおりである。

①　工事における技術提案に関する事項
・路面の平坦性の確保に関する留意点と対応策

⑸　評価項目に関する技術提案資料を技術資料に併せて提出すること。

⑹　技術提案の採否について、競争参加資格確認結果書において併せて通知する。

⑺　技術提案が採用されなかった場合は、当該評価項目に係る技術提案は無いものとみなす。

⑻　技術提案が採用されなかった理由についての問合せを受ける。

⑼　技術提案が採用された場合は、採用された技術提案に基づく入札を行うこと。なお入札の際に、技術提案の再度の提示・提出は必要ないものとする。

⑽　工事中における技術提案内容の変更は原則として不可とする。

⑾　総合評価の評価項目として加算された事項が、受注者の責により達成できないと認められ、再度施工が困難あるいは合理的ではない場合は、本工事の評定点を減ずることとし、履行状況が特に悪質と認められるときは未履行額を徴収する。また、契約違反として取り扱う場合がある。

４　入札手続等

⑴　担当部署

東日本高速道路株式会社関東支社　技術部　調達契約課　加賀田正則　〒110―0014 東京都台東区北上野１－10－14　電話03－5828―8356

⑵　契約図書の配布期間、場所及び方法

①　配布期間：入札公告の日から平成21年10月５日（月）までの土曜日、日曜日及び祝祭日を除く毎日、午前10時から午後４時まで。

②　配布場所：上記⑴に同じ。

③　配布方法：無償で直接配布する。ただし、入札公告の写し、契約書（本工事では土木契約書を用いるものとする。)、入札者に対する指示書（本工事では土木工事用を用いるものとする。)、共通仕様書、入札ボンド制度及び電子入札留意事項は当社ホームページから入手するものとする。

⑶　確認申請書等の提出期間、場所及び方法

①　提出期間：入札公告の翌日から平成21年10月５日（月）までの土曜日、日曜日及び祝祭日を除く毎日、午前10時から午後４時まで。

②　提出場所：上記⑴に同じ。

③　提出方法：電子入札システムにより提出すること。

⑷　紙入札を申請する場合［本項目に定めのない者は⑴から⑶のとおり］

①　紙入札の申請：紙入札方式を希望する競争参加希望者は、申請書等と併せて「紙入札方式参加承認申請書」(電子入札留意事項様式１）を提出すること。

②　提出方法：郵送（簡易書留に限る。)により提出すること。なお、上記⑴の担当部署の東日本高速道路株式会社　関東支社　技術部　調達契約課へ、親展扱いにて郵送することとし、期間内に必着すること。

③　留意事項：紙入札の申請は承認しない場合があるので留意すること。(詳細は電子入札留意事項を確認すること。)また、紙入札の申請を承認しない場合は、上記⑶①の提出期間の最終日から５日以内に連絡を行う。

⑸　入札ボンド（入札保証）に関する事項

金融機関等の保証を受けた保証証書または保険会社の入札保証保険契約を締結した保険証券の入札ボンド（入札保証）を提出しなければならない。

⑹　入札書及び入札ボンドの提出期限、場所、方法及び開札日時

①　入札書の提出

イ）提出期限：平成21年12月１日（火）午後４時00分

ロ）提出場所：上記⑴に同じ。

ハ）提出方法：電子入札システムにより提出すること。ただし、契約責任者から紙入札の承認を得た場合は、入札書を郵送(簡易書留に限る。)により提出すること。なお、上記⑴の担当部署の東日本高速道路株式会社　関東支社　技術部　調達契約課へ､親展扱いにて郵送することとし、期間内に必着すること。

②　入札ボンドの提出

イ）提出期限：平成21年12月１日（火）午後４時00分

ロ）提出場所：上記⑴に同じ。

ハ）提出方法：郵送（簡易書留に限る。)により提出すること。なお、上記⑴の担当部署の東日本高速道路株式会社　関東支社　技術部　調達契約課へ、親展扱いにて郵送することとし、期間内に必着すること。

③　開札

イ）開札日時：平成21年12月２日（水）午前10時30分

ロ）開札場所：上記⑴の10階入札室

５　その他

⑴　契約の手続において使用する言語及び通貨

日本語及び日本国通貨に限る。

⑵　入札保証及び契約保証

イ）入札保証　必要

ただし、金融機関等の保証を受けることまたは入札保証保険契約を締結することに限る。

ロ）契約保証　必要

落札者は、落札決定後７日以内（休日を含まない）に、契約金額（税込）の10分の１以上に相当する契約保証等の証書を提出することとする。なお、低入札価格調査を実施した場合の契約保証は、契約金額（税込)の10分の３以上に相当する金額とする。

ただし、金融機関等の保証または公共工事履行保証（金銭保証に限る）を受けること、もしくは履行保証保険契約を締結することに限る。

⑶　入札の無効

本公告に示した競争参加資格のない者のした入札、確認申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

⑷　落札者の決定方法

契約制限価格の範囲内で入札した者のうち、記３⑶に示す評価値が最も高い者を落札者となるべき者とする。なお、評価値の最も高い者が２者以上あるときは、当該入札を行った２者以上の者による再度の入札により落札者を決定する。ただし､再度の入札によってもなお落札者が決定しない場合は、くじ引きにより落札者を決定する。

また、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、またはその者と契約締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがあって著しく不適当であると認められるときは、契約制限価格の範囲内で有効な入札をした他の者のうち評価値が最も高い者を落札者となるべき者とすることがある。

⑸　支払条件

イ）前金払　有

ロ）部分払　有